

河野 太郎

河野太郎はこれまでに…

- ・遺伝子組換え食品を消費者にわかりやすく表示する制度を実現しました。
- ・議員立法で、消費者基本法、特定船舶入港禁止法を成立させ、臓器移植法の改正を実現しました。
- ・熊本地震の災害対策本部長として復旧、復興のリーダーシップをとりました。
- ・安倍晋三内閣の外務大臣として、拡大する中国の軍事力の脅威に対抗するため、自由で開かれたインド太平洋構想の実現に力を尽しました。
- ・防衛大臣として、日米同盟の強化に尽力しました。自衛隊員の待遇を改善し、不足しがちだった自衛隊の弾薬や戦闘機の部品の調達に力を入れました。
- ・コロナワクチンの接種担当大臣として、1日最高170万回の接種を実現し、日本人を守りました。
- ・行政手続きにおける認印やフロッピーディスクの廃止、ドローンによる物資の配達の事業化を実現しました。
- ・住民票の写しや印鑑証明書のコンビニ交付、確定申告、出生届、パスポートの申請をはじめとした行政手続きのデジタル化を進めました。
- ・株式会社湘南ベルマーレの初代代表取締役に就任し、湘南のクラブチームの存続に力を尽しました。
- ・神奈川県で初めてとなる42・1の5Kの市民マラソン、湘南国際マラソンを創設しました。

そしてさらに日本を前に進めます。

■緊迫する国際情勢に対応できる新しい国際秩序を主導します

- ・自由と民主主義、法の支配、人権といった基本的価値を守る国々と一緒に、独裁体制・監視社会の広がりを防ぎ、一方的な現状変更の試みに対抗できる枠組みをつくり、国際社会の中で日本の確固たる地位を確保します。

■それぞれの人生を支える持続可能な社会保障制度を創ります

- ・年金で生活を維持できるように、年金制度の抜本改革を超党派で実現します。
- ・より付加価値の高い仕事を目指すために、安心してスキルアップに取り組めるセーフティネットをつくります。
- ・「男性も女性も働く、男性も女性も育児や家事をする」というライフスタイルを前提とした制度への転換を進め、同一労働、同一賃金、同一待遇を徹底します。
- ・農作物を増産し、平時には輸出して稼げる農業への転換を推し進めます。
- ・公立学校の教育水準を上げ、初等教育から高等教育まで、すべての子どもたちに教育の機会の平等を保障する制度をつくります。
- ・2050年にカーボンニュートラルを実現します。

■躍動感のある経済と社会を実現します

- ・未来に責任をもつ健全な財政と強い「円」で日本経済を前に進めます。
- ・https://nenkindb.jp ゼひアクセスしてみてください。
- ・出産、子育てから老後まで、暮らしを守る持続可能な全世代型社会保障制度を構築します。
- ・デジタルセーフティネットを創設し、困っている人に行政からブッシュ型で支援を出せる仕組みをつくります。
- ・自動運転や空飛ぶ自動車、人工臓器、オンライン教育、オンライン診療など、最新技術の社会実装を進めていきます。
- ・デジタル技術を使った子どもや高齢者の見守りを積極的に広めていきます。
- ・医療機関のカルテや薬の情報を自分のスマホで確認できるようにします。

■人口減少のなかでも、人が人に寄り添う温もりのある社会を創ります

- ・出生届から引越しや相続の手続きまで、あらゆる行政等の手続きをスマートでできるようにします。スマホを使わない人も、役所の「書かないワンストップ窓口」で、書類を書かなくても行政手続きができるようにします。
- ・自動運転や空飛ぶ自動車、人工臓器、オンライン教育、オンライン診療など、最新技術の社会実装を進めていきます。
- ・デジタル技術を使った子どもや高齢者の見守りを積極的に広めていきます。
- ・医療機関のカルテや薬の情報を自分のスマホで確認できるようにします。

期日前投票をご利用いただき、ぜひ河野太郎にご投票ください。

Website



河野太郎の
最新の情報を
発信しております。

略歴 / 元湘南ベルマーレ会長。平成14年に生体肝移植のドナーとなり、父親に肝臓を移植。その経験から、議員立法で臓器移植法の改正を実現。同じく議員立法で消費者基本法、特定船舶入港禁止法を成立させる。平成27年に国家公安委員長、行革担当大臣、国家公務員制度担当大臣、内閣府特命担当大臣(防災、規制改革、消費者及び食品安全)として初入閣。外務大臣、防衛大臣、ワクチン接種推進担当大臣、デジタル大臣、デジタル行政改革担当大臣、デジタル田園都市国家構想担当大臣、沖縄及び北方対策特命担当大臣を歴任。